

中根みずずさん全国農業大学校意見発表会最優秀賞受賞報告

3月22日(水) 全国農業大学校意見発表会で最優秀賞を受賞した中根みずずさんが、久米島町役場を訪れ桃原町長と中村副町長へ報告しました。

中根さんは、大阪府出身で離島留学生として久米島高校を卒業しました。

2月に東京で開催された全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会で、離島の農業課題解決への思いを「地域根ざした農業がしたい」と題して発表し、意見発表の部で最優秀賞に選ばれました。

受賞した中根さんは、「海外研修に行きそこで人脈を広げてたい、いずれは久米島で農業をし、農業で島を盛り上げたい」とい夢を語ってくれました。



久米島紬後継者育成事業卒書式

久米島紬の技術や文化の継承を目的に実施された「令和5年度久米島紬後継者育成事業」の卒書式が3月17日に行われ、令和4年度研修生の1名に修了証書が授与されました。久米島紬事業協同組合の松元徹理事長は「これからも更なる技術向上に励み、久米島紬の承継を担う織子になって下さい」と激励しました。「久米島紬後継者育成事業」は、本年度も実施される予定で、久米島紬事業協同組合では受講生を募集しています。

PONANT社「ル・ソレアル号」祝・初寄港



3/27にフランス船社「PONANT(ポナン)」に所属するラグジュアリークラスのクルーズ船「ル・ソレアル号」がコロナ禍の影響により3年越しに初寄港しました。



同船はハテの浜付近に停泊し、乗客らは本船に備え付けられた強化ゴムボートでハテの浜へ到着後、本町渡船事業者のグラスボート等へ乗り換えて、久米島へ上陸しました。台湾やフランス、カナダから約200名が来島し、島内観光や久米島紬ツアーに参加し、島の自然や歴史、文化に触れ、初寄港歓迎セレモニーでは、なでしこ保育園児による和太鼓や琉球古武道の演武を楽しまれました。

セレモニーにて桃原町長より歓迎のメッセージと初寄港を記念して久米島紬で制作されたタペストリーが贈呈されると、PONANT社日本・韓国支社長の伊知地様からは「これほどのおもてなしをしていただき、本当に感謝しています。ありがとうございます。」と伝えられました。



ポナン社によるクルーズは令和6年春にも4回予定されており、久米島町では引き続き、受入れ体制の構築に向けた取り組みを行っていきます。